

市数研だより

令和元年9月27日発行 NO. 3 熊本市中学校数学教育研究会

9月12日（木）9月の定例会が三和中学校で行われました。

1. 会長あいさつ （白川中学校 徳永校長先生）

今日は10月にある学びわくわく授業研究会に向けての指導案検討会です。学びわくわく授業研はそれぞれの5つのブロックごとに輪番で会場校が決まっています。午後半日かけて学んでいただき、数学に関わる職員の輪を広げる大切な機会です。今日は、本番に向けての授業づくりとして時間がとってあります。それぞれアイデアを出していただいて、わくわく授業研に参加された方が「これやってみたいな。」と思うような、いつもの授業から視点を少し変えた、ちょっとした工夫のある授業をみなさんでつくっていただけたらと思います。そして、市数研の活動を広げていきましょう。



2. 令和元年度熊本市中学校学びわくわく授業研究会（10/10(木)）について

北部ブロック 授業者 高木裕貴先生(植木北中) 責任者 園川弘美先生(植木北中)

2年生の一次関数の単元で、グラフの読み取りを中心にした授業を考えています。校区内が自然豊か（周りに田んぼが多い）であることと、来年度に行う農業体験を関連付けるような授業を行いたいと思います。よろしくお願いします。



東部1ブロック 授業者 蓬萊佑先生(出水中) 責任者 松本瞬先生(出水中)

2年生の図形の調べ方の単元で、多角形の内角の和を求める授業を考えています。三角形に分割することで、既習事項を使って生徒が自ら多角形の内角の和の公式を導いていくところがねらいです。先生方の意見をいただいて勉強しようと思っています。よろしくお願いします。



東部2ブロック 授業者 木下裕美先生(帯山中) 責任者 津留賢人先生(帯山中)

2年生の一次関数の単元で、ダイアグラムを読み取り、ある人物のアリバイを崩すという授業を考えています。座標平面上にあるたくさんのグラフから、解決のために必要なグラフに注目する力や、グラフを読み取る力をつけさせることがねらいです。



西部ブロック 授業者 城塚さとみ先生(飽田中)

責任者 秋好秀春先生(飽田中)

1年生の方程式の利用で授業を考えています。算数の解き方と方程式を使った解き方を比較することによって、方程式の有用性を実感させる授業にしたいと思います。まだまだ迷っていることばかりですのでたくさん意見をいただいて頑張っていきます。よろしくお願いします。



南部ブロック 授業者 田中茜先生(城南中)

責任者 村上邦子先生(城南中)

1年生の方程式の利用で、規則的に並ぶ図形について、一次方程式を使って考察する授業を考えています。2時間で計画しており、第一時では教材に興味をもたせ、第二時では主体的に学ぶ姿を追求していきたいです。自分で見つけた図形の規則性を式化し、解の吟味までできればいいと思っています。



3. まとめ

(1) (熊大附属中学校 高木校長先生より)

本日53名も参加していただき、すごいと思いました。

10月4日は附属中の研究発表会の日になっています。まだ申し込みできますので、多数のご参加お待ちしております。附属中の取り組みを紹介したり、みなさんからのご示唆をいただきたいと思っております。



(2) (出水中学校 竹下校長先生より)

どのように授業をするかは、スモールステップで生徒が段階的に進んでいけるように授業を組み立てたり、あるいはほとんど生徒に任せるような授業展開にしたり等、いろいろあると思います。授業としては、できるかどうかは別として、ダイナミックに子どもたちに全て任せる授業が私は好きです。好きなのですが、この時「子どもがどう反応するか」や「どういう解き方をするか」と考えるととても不安です。実際に、研究授業となったときはいつも以上に任せることへの怖さも感じると思います。が、それを楽しめるような授業をつくってみたいものです。しかし、全てを生徒たちに任せるとするのも難しいので、ある程度の段階まではスモールステップに行く必要があると思います。最終的には、教師は意見の整理を行うことに徹し、生徒の意見だけで目標にたどり着く、そんな授業を目指していかなければいけないと思うし、わくわく授業研でもそんな授業が行われればと期待しています。

わくわく授業研、そして来年度の県大会に向けて一致団結して頑張っていきましょう。



(3) (熊本大学准教授 吉村先生より)

今日は、南部ブロックに入らせていただき、授業づくりについて一生懸命に話をされているのを見ていました。様々な意見交換が行われていましたが、最終的には授業をされる先生がやりたいものをするというのが一番なのかなと思います。授業者の先生方、色々なアドバイスをもとに、自分のやりたい授業をぜひやっていただけたらと思います。



4. 閉会 (三和中学校 出崎校長先生より)

タレントが俳句を作ってその俳句の良し悪しを夏井先生という方が添削される「プレバト」という番組があります。添削されて朱書きされた俳句を見て「こういう俳句がいい俳句なんだ」と学び、それを繰り返し見ているうちに、俳句を作ったこともない私自身もだんだん俳句というものが分かってくる気がするのです。ペットボトルに書いてある俳句を見た時に、「これ、いい句だな。」ということが分かるように、自然と学習が成立していることがとても気持ちがいい。何が言いたいかというと、私たちが授業をするときもそういうのが大事なのではないかと思うのです。子どもが何かを発表する、何かを証明する。でも、ここを少し変えたらもっとクオリティの高い発表や証明になる。そんな視点で子どもたちの発表なり証明のクオリティを上げてあげる。そのためには、教師も「何がいいのか」「どうすればもっと良くなるか」をまずは自分自身が分かるために学ぶ必要があるでしょう。今日の定例会でも先生方に色々な学びがあったと思いますが、その学びをぜひ授業の中に取り入れていただければと思います。



6. お知らせ

次回の定例会は

10月10日(木) 18:30~20:30 飽田中学校 です。

**学びわくわく授業研究会の日です。いつもより早いので時間をお間違えないように！
お忙しいと思いますが、多数のご参加をお願いします。**

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

(授業についてのアドバイス等もお願いします。)

nishi.yuuki@kumamoto-kmm.ed.jp または mori.kenji@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。
主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 出水南中学校 森 建之
藤園中学校 西 悠希